

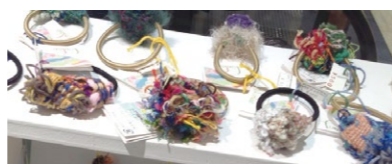
第1部 13:00～15:00 (受付 12:30～) 「障害のある人たちによるアートを生かした仕事づくりは今」

震災後、仕事を失った障害のある人や福祉施設がありました。わたしたちは、生きる希望・糧としての「仕事づくり」を直近の課題として、とくにモノづくりを通じた支援活動を実施してきました。宮城県のふたつの福祉施設のモノづくりの事例と、宮城県の施設が協働で出展したプロジェクトの仕組づくりについて報告します。

13:00 ごあいさつ 一般財団法人たんぼぼの家事理事 播磨靖夫

13:10
13:30 「タケダいのちとくらし再生プログラム」から生まれた Good Job! 東北プロジェクト
日本NPOセンター タケダいのちとくらし再生プログラム担当 深野善人
20 min
企業×NPO×東北の市民が協働する「タケダいのちとくらし再生プログラム」。この4年間の事業の特徴と意義について、また Good Job! 東北プロジェクトを訪問してきた、障害のある人と社会づくりの関係をお話いただきます。

13:30
13:50 実践報告① みどり工房若林(仙台市)・楽しさの風をおくるブランド「FunFan」
みどり工房若林施設長 今野真理子、造形家 ささきりえ
20 min
精神障害のある人たちの施設「みどり工房若林」は津波で全壊したために仙台市若林区で活動を再スタートしました。クラフト商品の整理・開発という課題解決に地元のクリエイターが参加しました。はじめての訪問、課題抽出、仙台パルコでの販売を目標にした商品リニューアル。短期間のなかにも凝縮された施設とクリエイターとの協働の歩みを報告します。



13:50
14:10 実践報告② のぞみ福祉作業所(南三陸町)・「NOZOMI PAPER Factory」プロジェクト
社会福祉法人洗心会のぞみ福祉作業所スタッフ 森伸也、デザイナー 前川雄一
20 min
おもに知的障害のある人たちと仮設のプレハブではじめての自主製品づくりをはじめたのぞみ福祉作業所。2012年からは Good Job! 東北プロジェクトが紙すきによる商品開発の支援をスタートしました。この活動は2014年度にはいよいよ施設そのもののブランディング、地域の土産物品としての商品開発などに発展しています。その現状と課題についてお話します。



14:10
14:30 実践報告③ 仙台クラシックフェスティバル2014 出展 ショップ「ハチブオンブ」ができるまで
AAR Japan[難民を助ける会]プログラム・コーディネーター 岸田恵奈、エイブル・アート・ジャパン東北事務局 武田和恵
20 min
復興支援を目的に震災後、さまざまな支援団体が東北にやってきました。3年目を迎え、どうしたら現地に意味と価値のあるプログラムを残せるのか。どうしたら障害のある人自身や職員にとって達成感のある機会をつくれるのか。そんな想いで個性の違うNPOが協働し実践した「せんくら」出展&人材育成プログラム。担当者からの報告です。



14:30
15:00 ディスカッション「障害のある人たちによるアートを生かした仕事づくり」
30 min
「障害のある人たちによるアートを生かした仕事づくり」はどのようなインパクトをもたらすことができたでしょうか。実践報告者とともに課題と夢を語りましょう。

15:00～16:00 コーヒーブレイク



関連企画

18:30～20:30

てつがくカフェ
「支援とは?? ～障害者の芸術活動支援 vol.3」
参加費 500円
ワンドリンク付
ファシリテーター 西村高宏さん、ファシリテーショングラフィック 近田真美子さん
(ともに、てつがくカフェ@せんだい)



「障害を理解するとは?」(12月6日@山元町立坂元中学校)、「障害のある人の芸術活動とは?」(1月15日@せんだいメディアテーク)につづく第3章! 昼のセミナーで不完全燃焼だった人も、夜なら参加できるという方も、どなたさまも気軽にご参加ください。

第2部 16:00～18:00 (受付 15:30～) 「障害のある人たちの芸術活動に必要な支援とは?」

障害者の芸術活動に関するさまざまな相談を受ける障害者芸術活動支援センターの設置をはじめ、著作権保護や芸術活動支援に関する研修、作品の調査・発掘、評価・発信にかかる取り組み、また自治体や各種関係機関とのネットワークづくりなど、多様な実践が全国5カ所で実施されています。宮城県もその1カ所として採択され、特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン(東京/東北)がこの活動を推進しています。

1月中旬、せんだいメディアテークで開催された展示会には4日間で1,800人を超える来場者を迎えました。作品を出展したアーティスト、家族、支援者による大報告会です。

16:00
16:10 「障害のある人の芸術活動支援事業は今」
特定非営利活動法人エイブル・アート・ジャパン代表理事 柴崎由美子
10 min
事業の主旨、全国的な取り組みの事例、そして宮城県における活動の価値とねらいをお話します。

映像をみながら話そう! 「宮城発! アートが生まれるとき」

どうしたら表現活動ができるの? どうしたら支援者に会えるの? 宮城県をまわり映像を撮り、インタビューをしてみたら、支援のカタチは多様になりました。アートが生まれるとき、そこにはどんな支援やドラマがあったのでしょうか。映像をまじえながら語ります。



あーとらんどくらぶ(仙台市)

16:10
17:10 動機とペースを大切に作る個人のアーティスト
造形家 松浦 繁 & 彫刻家・アトリエ創主宰 翁ひろみ、アーティストの家族 阿部慶子
60 min

芸術文化の発信基地! 障害者福祉施設
工房地球村アートスタッフ 刈田路代

今ないならみんなで作ろう! 市民によるアトリエ
ペンギンズアート工房(NPO石巻広域クリエイティブアートの会)代表・宮城県立石巻支援学校スクールサポーター 宮川和子

障害の意味をずらしたりひっくりかえす「まっくらカフェ」の事例から
宮城県障害者福祉センター所長・まっくらやみ仕事人 齋藤 基、業務課長・まっくら企画マネージャー 佐々木明子

ディスカッション 「あなたはどう目撃したか?! 宮城県における障害のある人たちの芸術活動」

「障害者の芸術活動支援事業@宮城」のアートディレクター、協力委員、事務局、来場者で語りあいましょう。

17:50
18:00 メッセージ
10 min
工房地球村施設長 田口ひろみ
開催中の山元町「やまのもののアート展」と障害のある人たちの芸術活動の意義についてあつく語ります。

お知らせ

●「やまのもののアート展」 ●「障害のある人の表現活動と著作権」研修

2015年2月14日|土|～3月22日|日|
コミュニティカフェ・工務店・居酒屋・イチゴ農場など、山元町内6会場で開催!

1 2015年3月13日|金|14:00～17:00
NAVIS ビル3階リンケージルーム
(仙台市宮城野区榴岡5-12-55)
2 2015年3月14日|土|14:00～17:00
工房地球村 多目的ホール
(互理郡山元町真庭字名生東75-7)
定員:20名(申込み先着順) 参加費:無料

いよいよ東北で公募展開催!

第1回 Art to You!
東北障がい者芸術公募展
作品募集!

4月1日|水|～28日|火|応募資料必着

<http://www.art2you.jp/>